2025年度 春 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL52425A09）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マラウイ	C101 食用作物・稲作栽培	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

農業省

2）配属機関名（日本語）

リフウ稲作試験所

3）任地（ サリマ県リフウ ） JICA事務所の所在地（ リロングウェ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ ﾊﾞｽ で 約 1.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は世界遺産マラウイ湖のほとりにあり、当国の稲作に関する適正品種の選定と効果的な栽培方法の研究、病虫害対策、肥料に関する選定などを調査・分析し、稲作農家に推奨していく目的で1971年に設置されている。年間予算は6万米ドル。配属先には研究のための機材は存在しないか、非常に古いものしかない。ネリカ米の試験・普及ではJICAの支援も受けており、同僚は第三国研修に参加している。2012年までに3名の隊員が活動していた。

【要請概要】

1）要請理由・背景

配属先では稲の品種選定や収量増加のための改良を行っているが、期待した効果が出ていない。また改良を行うための機材がないため、先進的な技術習得も進んでいない状況である。品種改良のための助言を得るため、隊員の要請に至った。また隊員には、米の付加価値を上げるような加工品の提案も期待されている。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.稲作に関する栽培試験の実施及び助言
2.米を使った食品のアイディアの提案

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務室

4）配属先同僚及び活動対象者

・研究員 7名(学士、稲作研究10年から2年)
・技術者 3名
・研究補助員 20名

5）活動使用言語

英語

6）生活使用言語

その他

7）選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）農学系　備考：同僚と同等の資格

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：同僚に助言を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（10～30℃位）　[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水道]：（不安定）

【特記事項】

生活の中で現地語(チェワ語)が必要となる場合があるため赴任後の現地語学訓練で学習する。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.